

一般質問

質問順位 1 番 中山田 健 晴

質問内容	要 旨	答 弁 者
1．新世代CATVについて	<p>端末機の内容、活用法について。</p> <p>現時点での加入状況、その分析、加入率アップに向けての今後の施策について。</p> <p>引き込み工事、宅内工事、加入金、使用料の詳細とそれに対する減免措置等について。</p> <p>本市自前の光ケーブルによる放送・通信網が完成するが、現時点では、放送が一人歩きの様相であり、本事業の主な目的である情報通信の説明が周知徹底される必要がある。今後、医療・商業等様々な分野での活用が期待されるが、どのように考えているか。</p>	<p>市 長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p>
2．学校給食について	<p>給食センターが完成され、今月より運転開始されました。期待と不安それぞれでしょうが、その状況と今後について。</p> <p>納入業者とその選定について。</p> <p>納入品目、地産地消について。</p> <p>給食費未納の現状と対策及びモラルについて。</p> <p>今後の食育について。</p>	<p>教 育 長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p>
3．医療費について	<p>地方財政の大変厳しい中、医療費の増加による財政圧迫が懸念されています。その現状についてどのように認識しているのか。また、今後の対策について。</p>	<p>市 長</p>

一般質問

質問順位 1 番 中山田 健晴

質問内容	要 旨	答 弁 者
4．観光行政について	<p>予防医療についての考えについて。</p>	市 長
	<p>C A T V情報通信網の活用について。</p>	"
	<p>この夏、市内の商店街において、夜市等のイベントが開催され、それぞれの商店街の活性化が図られ、今後に向けての意気込みが伺える。このような中、桂川で二分された商店街の連携は必要であり、桂橋の整備が待たれているが、現在の状況について。</p>	市 長
	<p>昭和の町に点在する利用可能な施設、土地の今後について。</p>	"
	<p>空き店舗の今後の利用法について。</p>	"

一般質問

質 問 順 位 2 番 尾 上 真 一

質 問 内 容	要 旨	答 弁 者
1．企業合同就職説明会について	<p>就職説明会の状況、参加人数について。</p> <p>地場企業の状況について。</p> <p>名簿登録者の就職状況について。</p>	<p>市 長</p> <p>〃</p> <p>〃</p>

一般質問

質 問 順 位 3 番 北 崎 安 行

質 問 内 容	要 旨	答 弁 者
1．地域審議会の設置について	現時点での設置について。	市 長
2．ケーブルテレビ加入促進について	設計では90パーセント加入を見込んでいるとのことであるが、加入促進対策について。	市 長
3．電子決裁について	4月より電子決裁に移行後の問題の発生について。	市 長
4．学校給食について	9月より運用される自校方式とセンター方式の人員配置の違いについて。 給食配送における時間差について。 給食費の未納問題について。	教 育 長 " "
5．市有林について	面積、樹齢、管理について。	市 長
6．農業振興について	地球温暖化で夏の露地野菜が作りにくくなっているが、原点に帰った対策の必要性について。	市 長

一般質問

質 問 順 位 4 番 川 原 直 記

質 問 内 容	要 旨	答 弁 者
1．住民サービスの維持と財政改革の推進について	出張所の閉鎖に伴うサービスの代替策について。 投票所の減少に伴う投票の権利の確保について。 町おこしグループへの市の援助策について。 災害復旧に対する市の対応について。 小規模災害に対応する十分な予算について。	市 長 " " " "
2．保育料について	滞納の現状と対策について。	市 長
3．ケーブルテレビについて	最終的な施設設置費用について。 供用開始に伴う市民の負担について。	市 長 "

一般質問

質 問 順 位 5 番 近 藤 紀 男

質 問 内 容	要 旨	答 弁 者
1．市職員の超過勤務縮減について	<p>2007年8月8日に人事院から政府に勧告された、平成19年度人事院勧告の中で「超過勤務の縮減は政府全体として喫緊に取り組む必要のある重要課題となっている。」と公務員人事管理に関する報告ということで述べられています。</p> <p>職員の健康維持、職業生活と家庭生活の調和、職員の士気の確保等を考えたとき、本市においても喫緊の課題であると考えますが、当局の見解をお伺いします。</p>	市 長
2．小中学校の耐震診断について	<p>これまでの耐震診断の実施状況について。</p> <p>耐震診断の公表について。</p> <p>今後の耐震化計画について。</p>	教 育 長 " "
3．特別支援教育について	<p>2007年より、すべての小中学校において、LD（学習障害）・ADHD（注意欠陥、多動性障害）・高機能自閉症の発達障がいの児童生徒に対する支援として、特別支援教育が進められています。</p> <p>そこで下記の3点についてお伺いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市の特別支援教育に対する支援体制について。 ・特別支援教育の予算措置について。 ・特別支援教育に携わる人材の育成並びに担当職員の配置について。 	教 育 長

一般質問

質問順位 5 番 近 藤 紀 男

質問内容	要 旨	答 弁 者
4 . 小中学校の図書費について	<p>文部科学省の「新学校図書館、図書整備5ヶ年計画（総額予算 1,000億円）」が、2007年より実施されています。</p> <p>そこで、下記の3点についてお伺いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市の図書費の予算は、前年度比較でどのくらいのアップとなったのか。 ・児童一人あたりの図書費はどのくらいとなるのか。 ・（文科省）図書整備5ヶ年計画による、本市の年次計画について。 	教 育 長

一般質問

質 問 順 位 6 番 大 石 忠 昭

質 問 内 容	要 旨	答 弁 者
1 . ケーブルテレビ事業について	<p>市長は合併重点事業としてケーブルテレビ事業を計画、来年3月、9月までに加入すれば加入金や引込工事費を免除するなど市民に宣伝し、全世帯の加入をめざしているが、免除期限の来年3月末、9月末までの加入目標を明らかにされたい。</p> <p>加入促進できるかどうかは、ケーブルテレビの導入のメリットを市民に理解してもらう対策と、住民負担をいかに軽減するかにかかっている。</p> <p>9月5日現在の加入申込者は4,498人しかないようだが、9割の世帯が加入できる見通しがあるのか、市議会議員にも詳細な説明や協議もなく市長が一方的に事業をこり押ししてきたため、市民への事業内容が正確に周知されず、逆に反発を受けているのではないか。加入申し込みの遅れの原因をいかに認識しているのか。打開策を明らかにされたい。</p> <p>加入金63,000円、引込工事費5万円程度は高すぎる。なぜそのような数字を設定したのか算定の基礎を明らかにされたい。</p> <p>免除期間までに加入しない場合は、規定通りに加入金や引込工事費を徴収するのか、免除期間の延期や引き下げなど変更もあり得るのか。</p>	<p>市 長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p>

一般質問

質 問 順 位 6 番 大 石 忠 昭

質 問 内 容	要 旨	答 弁 者
	<p>宅内工事費は最低と最高ではどれくらいの差が考えられるのか、普通の家庭ではどれくらいの経費が必要なのか。</p> <p>生活保護者や1・2級の身体障害者のいる世帯、重度の知的障害者のいる世帯は加入金、引込工事費は免除、80歳以上の単独世帯などは基本料金の3分の1を減額するなど減免制度を設けているが、宅内工事費についても、高齢者など低所得者には早急に助成制度を設け加入促進を図るべきではないか。</p> <p>中途半端、わずかな市民しか加入しない状況では、特定の業者が儲けるだけで市民にとっては無駄づかいになる。</p> <p>議会中継やお年寄りなどの安否確認、市民の健康相談などのサービス事業も実施時期を明確にし市民の理解と協力が得られるよう市民サービスに徹するべきではないか。</p> <p>利用料金についても、加入者全世帯の基本料金は1,260円よりも引き下げるべきではないか。</p> <p>独り暮らしなど安否確認が必要な世帯には基本料金の減免制度を充実し加入促進し事業効果をあげるべきではないか。</p>	<p>市 長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p>

一般質問

質問順位 6 番 大石 忠 昭

質問内容	要 旨	答 弁 者
2．後期高齢者医療制度について	<p>来年4月から実施される75歳以上を対象にした医療保険「後期高齢者医療制度」は、75歳以上の高齢者すべて加入させられます。これまで子どもの扶養家族になっている高齢者は保険料を支払う必要はありませんでした。しかし新制度ではこの人たちも保険料が取られるようになります。</p> <p>介護保険料と合わせて年金から天引きされますが、平均で月額1万円ほどになりそうです。</p> <p>高齢者の負担を軽減するため、国の負担割合を増額するよう政府に働きかけるべきではないか。</p> <p>今年11月頃には大分県の広域連合議会で、保険料が決定される予定ですが、低所得者には減免できるよう、大分県独自の減免制度を創設するよう働きかけるべきではないか。</p> <p>後期高齢者医療制度の財源をめぐっては、県や市町村が補助金を投入することができる仕組みになっています、大分県では保険料を軽減させるため県と市町村で助成できるよう関係機関と協議すべきではないか。</p>	市 長 " "
3．入札制度の改正について	<p>早急に電子入札、一般競争入札を導入すべきではないか。</p>	市 長
4．火葬場の建設について	<p>火葬場の建設用地の選定見通しと今後のスケジュールについて。</p>	市 長

一般質問

質問順位 6 番 大石 忠 昭

質問内容	要 旨	答 弁 者
5．ガラス張りの市政について	市長交際費や記者会見の資料など市ホームページで公開すべきではないか。	市 長
6．住民税の減免制度について	定率減税の廃止などにより、住民税が大増税となり払いたくても払えない世帯が増えています。全国の先進地では市独自の住民税減免制度を設け低所得者には減免している。本市でも検討し実施すべきではないか。	市 長
7．教育環境について	温暖化、異常気象に対応し全ての小中学校にエアコンを設置し、児童生徒の教育環境を完備すべきではないか。	教 育 長